

本研究成果一覧／相关研究成果一覧

1. 2016～2019年度に実施した本研究課題の成果、および2012～2019年度に実施した実験、および実験製作品の分析・検討に関する成果を公表した学会誌・要旨集等の発表文献、口頭発表・講演等の一覧を示す。
2. 2016年度の実験は本研究課題のほか、以下の課題で実施した実験の成果を含む。
 - ・高梨学術奨励基金 2016年度若手研究助成「土製鋳型の機能比較のための実験考古学的研究」（申請者：丹羽崇史）
3. 2012～2014年度実験は、以下の課題で実施したものである。
 - ・2012～2014年度科学研究費助成事業（基盤研究（B））「三次元デジタル計測技術を活用した中国古代青銅器の製作技法の研究」（課題番号：JP24320164, 研究代表者：谷豊信）
 - ・2009～2012年度科学研究費助成事業（若手研究（B））「東アジアにおける失蠟法の出現と展開に関する考古学的研究」（課題番号：JP21720295, 研究代表者：丹羽崇史）

2012～2014年度実験に関する研究成果

○学会誌・要旨集等

丹羽崇史・新郷英弘・八木孝弘・樋口陽介「中国青銅器の製作技法解明のための実験考古学的研究—曾侯乙墓出土尊盤の調査から—」『日本文化財科学会第30回大会研究発表要旨集』pp. 204-205, 2013年7月

丹羽崇史・新郷英弘・八木孝弘・樋口陽介「中国青銅器の製作技法解明のための対照実験」『亜細亜鑄造技術史学会研究発表資料集』7, pp. 111-115, 2013年8月（本書Ⅰ－1初出）

Takafumi Niwa, Hidehiro Shingo, Takahiro Yatsuki, Yosuke Higuchi “Experimental archaeological study for reconstructing the relationship between technologies and the remains of metal artifacts :Based on an investigation of Zun-Pan vessels from the Zenghou Yi tomb” The proceedings of The 8th conference of the Beginning of the Use of Metals and Alloys (BUMA8) “Cultural Interaction and the Use of Metals” pp. 310-316, 2014年2月

丹羽崇史・新郷英弘・樋口陽介・八木孝弘「中国青銅器の製作技法解明のための実験考古学的研究（2）」『日本文化財科学会第31回大会研究発表要旨集』pp. 220-221, 2014年7月（日本文化財科学会第8回ポスター賞）

丹羽崇史・新郷英弘・樋口陽介・八木孝弘「中国青銅器の製作技法解明のための対照実験（2）」『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』8, pp. 90-91, 2014年9月（本書Ⅰ－1初出）

丹羽崇史・新郷英弘・廣川守・樋口陽介・八木孝弘「中国青銅器の製作技法解明のための実験考古学的研究（3）」『日本文化財科学会第32回大会研究発表要旨集』pp. 148-149, 2015年7月

丹羽崇史・廣川守・新郷英弘・樋口陽介・八木孝弘「中国青銅器の製作技法解明のための対照実験（3）」『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』9, pp. 6-8, 2015年9月（本書Ⅰ－2初出）

丹羽崇史・新郷英弘・樋口陽介・八木孝弘「镂空青铜器制作技法对照实验研究—以曾侯乙盘为中心」『曾国考古发现与研究』pp. 384-393, 科学出版社, 2018年9月

丹羽崇史・廣川守・新郷英弘・樋口陽介・八木孝弘「中国青铜器制作技术复原的对照实验研究—关于青铜器外底“人工刻线”」『商周青铜器铸造工艺研究』pp. 203-207, 科学出版社, 2019年4月

○口頭発表・講演・ポスター発表等（上記の「学会誌・要旨集等」に含めたものは除く）

Takafumi Niwa, Hidehiro Shingo, Takahiro Yatsuki, Yosuke Higuchi “Experimental archaeological study for reconstructing of manufacturing technology of Chinese bronze vessels :Based on an investigation of ZunPan vessels from Zenghou Yi tomb” The 8th International Conference on The Beginnings of the Use of Metals and

Alloys(BUMA8), 奈良, 2013 年 9 月 10-15 日

丹羽崇史・新乡英弘「所谓“加强筋”の初步研究－以叶家山墓地出土青铜器为中心－」随州葉家山西周墓地国際学術研討会, 武漢, 2013 年 12 月 30 日

Takafumi Niwa, Mamoru Hirokawa, Hidehiro Shingo, Yosuke Higuchi, Takahiro Yatsuki・“Contrastive experimental study for reconstructing manufacturing technology of Chinese bronze artifacts” 7th Worldwide Conference, Society for East Asian Archaeology (SEAA7), Boston, 2016 年 6 月 8-12 日

丹羽崇史, ・ 廣川守・新乡英弘・樋口陽介・八木孝弘「商周青铜器制作技法对照实验研究」首届中国考古学大会, 鄭州, 2016 年 5 月 22 日

丹羽崇史, ・廣川守・新乡英弘・樋口陽介・八木孝弘「中國青銅器製作技術復原的對照實驗研究」商周青銅器暨鑄造工藝研究, 香港, 2016 年 11 月 4 日

丹羽崇史・新乡英弘・樋口陽介・八木孝弘「中国青銅器の製作技法解明のための実験考古学的研究」保存科学研究集会 2017「金屬製造物の調査・研究に関する最近の動向」, 奈良, 2018 年 3 月 9 日

2016 ～ 2019 年度に実施した本研究課題の成果（実験以外の成果も含む）

○学会誌・要旨集等

丹羽崇史「殷周～秦漢時代における羽口の展開」『鉄の技術と歴史フォーラム 第 172 回講演大会秋季シンポジウム論文集』 pp. 18-27, 2016 年 9 月

丹羽崇史・三船温尚・石谷慎「天理参考館所蔵「铸客」炉の施紋技法の研究」『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』 11, pp. 72-73, 2017 年 8 月

廣川守・樋口陽介・八木孝弘・新乡英弘・丹羽崇史「東周時代の鐘の中子製作技法」『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』 11, pp. 70-71, 2017 年 8 月

廣川守・樋口陽介・八木孝弘・新乡英弘・丹羽崇史「鳳氏編鐘の中子構造」『泉屋博古館紀要』 33, pp. 61-82, 2017 年 12 月

丹羽崇史・三船温尚・石谷慎「天理参考館所蔵「铸客」炉の研究 3－施紋技法の検討－」『FUSUS』 10, pp. 37-47, 2018 年 6 月

丹羽崇史・三船温尚・長柄毅一「「失鉛法」の実験考古学的研究」『日本文化財科学会第 35 回大会研究発表要旨集』 pp. 188-189, 2018 年 6 月

丹羽崇史・樋口陽介・新乡英弘「土製鑄型の機能解明を目的とした実験考古学的研究序説」『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』 12, pp. 45-47, 2018 年 9 月（本書 I - 5 初出）

丹羽崇史・長柄毅一・三船温尚「「失鉛法」をめぐる諸問題」『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』 12, pp. 64-66, 2018 年 9 月（本書 I - 4 初出）

丹羽崇史「製作技術からみた九連墩墓地出土青銅器—青銅升鼎の分析を中心に—」『日本中国考古学会 2018 年度研究発表資料集』 pp. 19-26, 2018 年 11 月

丹羽崇史「銘文からみた春秋戦国時代華中地域における青銅器生産—「作器者」銘の分析を中心に—」『東洋文化』 99, pp. 103-121, 2019 年 3 月

丹羽崇史・赤田昌倫・田中麻美・樋口陽介・新乡英弘「X 線 CT スキャナによる鑄造実験試料の内部構造調査」『日本文化財科学会第 36 回大会研究発表要旨集』 pp. 330-331, 2019 年 6 月（本書 I - 3 初出）

丹羽崇史・樋口陽介・新乡英弘「レプリカ法による東周時代楼空状青銅器紋様に関する実験考古学的研究」『日本文化財科学会第 36 回大会研究発表要旨集』 pp. 316-317, 2019 年 6 月（本書 I - 6 初出）

丹羽崇史・樋口陽介・新乡英弘「楼空状青銅器紋様の実験鑄造試料の比較検討」『亞洲鑄造技術史學會研究発表概要集』

13, pp. 49-50, 2019 年 8 月 (本書 I - 6 初出)

○口頭発表・講演・ポスター発表等（上記の「学会誌・要旨集等」に含めたものは除く）

Takafumi Niwa, “A transformation of curbed blowpipe [for melting furnace] in Ancient East Asia” 8th World Archaeological Congress, Kyoto(WAC-8 Kyoto) , 京都, 2016 年 8 月 29 日

Takafumi Niwa, “A transformation of casting clay molds in China ; Materials, Structures and Technologies” The 9th International Conference on The Beginnings of the Use of Metals and Alloys(BUMA9), 釜山, 2017 年 10 月 17 日

Takafumi Niwa, Haruhisa Mifune, Takekazu Nagae “Experimental archaeological research on “Lost lead casting”” 8th Worldwide Conference, Society for East Asian Archaeology (SEAA8) 南京, 2018 年 6 月 7 日

Takafumi Niwa, Yosuke Higuchi, Hidehiro Shingo “Experimental Archaeological Research on Reconstructing Shang-Zhou Clay Molds” Society for American Archaeology (SAA) 84th Annual Meeting, アルバカーキ, 2019 年 4 月 13 日

丹羽崇史「试论从二里头时期到秦汉时期的“复合生产”现象」第二届世界古都论坛 暨纪念二里头遗址科学发掘 60 周年学术研讨会, 洛陽, 2019 年 10 月 20 日

丹羽崇史「从“对照实验”来看古代铸造技术」中国科学院文化遗产科技认知研究中心传统工艺与文物科技讲座第 21 讲暨 IHNS 古代科技史学术报告第 17 讲, 中国科学院自然科学史研究所, 北京, 2019 年 11 月 12 日

丹羽崇史「从实验考古来看到的古代铸钱技术：以陶范的问题为中心」造币与王朝－国际视野中钱币的影响与改变, 中国国家博物館, 北京, 2019 年 11 月 13 日

○本課題で実施した研究会

国際研究会「陶範技術の実験考古学」, 奈良文化財研究所, 奈良, 2019 年 2 月 24 日

発表者：蘇栄誉・張昌平・廉海萍・廣川守・丹羽崇史

○その他

丹羽崇史「新たな実験考古学を目指して」コラム作寶樓, 奈良文化財研究所, 2018 年 5 月

<https://www.nabunken.go.jp/nabunkenblog/2018/05/20180502.html>